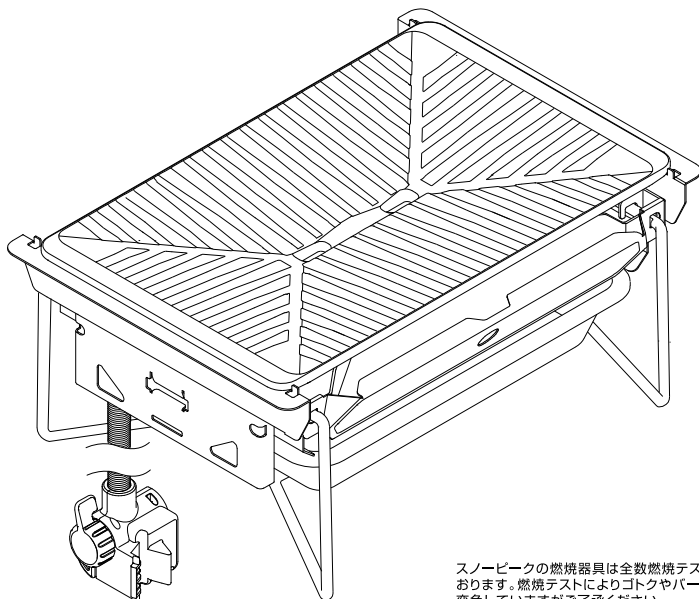


この度は、スノーピーク製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この製品はアウトドア用に開発された屋外専用の分離型こんろです。安全にご使用いただくためにも下記の取扱説明書をよく読んでからご使用ください。また、読み終わった後も大切に保管してください。説明内容で理解出来ない点及び製品に不具合が確認された際には直ちに使用を中止しご購入いただきました販売店様もしくは弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。



スノーピークの燃焼器具は全数燃焼テストを実施して出荷しております。燃焼テストによりゴトクやバーナーヘッドなどが若干変色していますがご了承ください。

本製品は屋外専用です。屋内、車内、テント等では使用しないでください。一酸化炭素中毒死や酸欠により窒息死の恐れがあります。屋外であっても狭い空間では換気にご注意ください。使用中または使用直後は器具が熱くなっていますので火傷には十分注意してください。また、お子様が手を触れないようにご注意ください。

ご使用の前に、よく読んで予測される事故を回避し安全にご使用ください。

本取扱説明書における警告と注意について



危険

明らかに生命に関わる重大な事故が予測される行為を示します。



警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う可能性があることを示します。

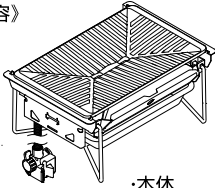


注意

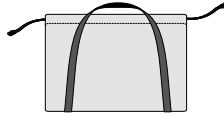
取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険、及び物的損害の発生が想定されることを示します。

セット内容・各部名称

《セット内容》



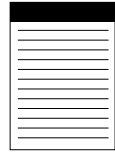
・本体



・収納ケース



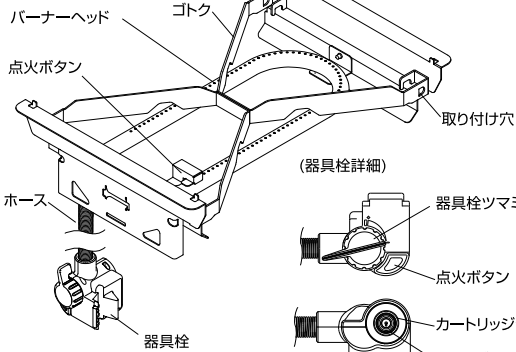
・結束バンド



・取扱説明書(本書)

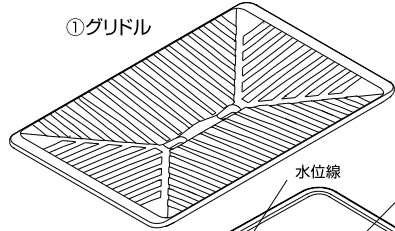
《本体詳細》

①バーナー本体

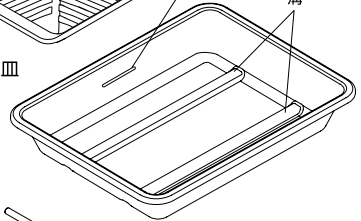


(器具栓詳細)

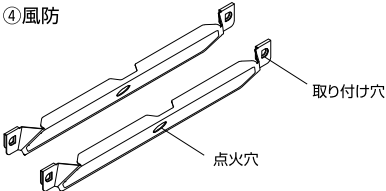
①グリドル



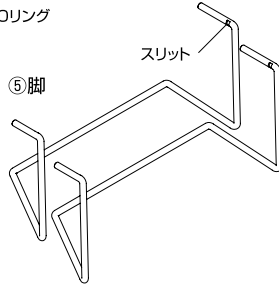
③水皿



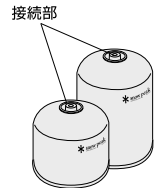
④風防



⑤脚



ガスカートリッジ(別売)



スペック

品 名	カセットこんろ(分離式)		
型 式	GS-355		
外 形 寸 法	250×360×175mm	使用可能オプション: S-029HD/グリルプレートハーフ深型、 GR-015/铸铁グリドルハーフ <u>鍋及びダッチオーブン使用不可</u>	
重 量	5kg		
ガ ス 消 費 量	157g/h		
出 力	1,700kcal/h		
専用ガスカートリッジ	GP-500GR,GP-500SR,GP-250GR,GP-250SR		
原 産 国	MADE IN KOREA		

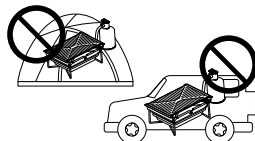
●ガス消費量および出力は当社試験室にて測定、算出したものです。

●ガスカートリッジは上の表の、SNOWPEAK指定専用ガスカートリッジのみをお使いください。

⚠ 危険

テントの中や車中、屋内では絶対に使用しないでください。

本製品は屋外専用です。屋内やテントの中、車内などでは絶対に使用しないでください。酸欠や有毒ガスにより死亡あるいは、重篤な中毒になる恐れがあります。本製品は屋外専用で設計されています。使用中は酸素を大量に消費します。限られた空間での使用は酸欠、一酸化炭素中毒になることがありまた火災の危険もあります。



お客様による修理や改造は絶対にしないでください。

■ 理由 ■ 本製品やガスカートリッジは精密に作られています。改造は性能低下になるばかりか不完全燃焼やガス漏れの原因になることがあります。修理に関しては、お買い求めの販売店または弊社ユーザーサービス係へお問い合わせください。



調理用こんろに点火する前にはガスが漏れていないことを必ず確認してください。

■ 理由 ■ 器具栓ツマミが確実に閉じているか確認してからガス缶を取り付けてください。また、ガス缶取付け後に各接続部よりガス漏れがないことを確認してから点火してください。ガス漏れをしている状態で点火すると、異常燃焼による火傷、あるいは中毒症状になったりすることがあります。少しでも異常を感じた場合は、直ちにご使用を中止し、お買い求めの販売店または弊社ユーザーサービス係までご相談ください。ガスが漏れている状態では絶対に点火しないでください。



ガスカートリッジのガスを故意に吸い込まないでください。

■ 理由 ■ 故意にガスを吸い込むと酸欠のため窒息死します。絶対にしないでください。

ガスカートリッジの再充填は絶対にしないでください。

■ 理由 ■ 専用ガスカートリッジは繰返し充填するように設計されていません。絶対にしないでください。

⚠ 警告

本製品にはsnowpeak指定専用ガスカートリッジをご使用ください。snowpeak製のガスカートリッジは本製品の性能が最大限に発揮できるように作られています。それ以外のガスカートリッジは使用しないでください。またsnowpeak製のガスカートリッジであっても使用できるガスカートリッジが定められています。指定専用容器は次の項目をご覧ください。

■ 理由 ■ 指定以外のガスカートリッジはバルブ形状、ノズルの太さなど規格が異なります。この基本設計の違いでガス漏れが発生し、引火や火災あるいは異常燃焼を起こすことがあります。

指定専用ガスカートリッジ	
GP-500GR/ GP-250GR (金色)	GP-500SR/ GP-250SR (銀色)



他メーカー

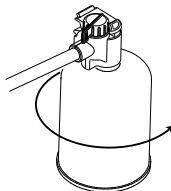
風防や天ぷらガード、石などで本製品を囲まないでください。

■ 理由 ■ 風防や天ぷらガード、石などで囲むと容器が異常に熱を吸収してしまいます。その上にナベなどをのせるとフタをしてしまう形になり異常に温度が上昇して爆発の危険がありますので絶対にしないでください。



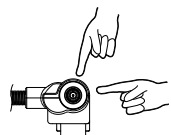
ガスカートリッジの着脱は垂直に立てた状態で行ってください。

■ 理由 ■ 新しい状態のガスカートリッジは液状のガスが上部まで入っています。斜めに傾いた状態で取り付けると液状のガスが勢よく噴出することがあり大変危険です。周辺に火気がないことを確かめ、垂直に立てて装着してください。接続するネジは大変重要な部分です。斜めにねじ込むとガス漏れの原因になります。



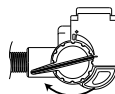
カートリッジジョイントのOリング(消耗品)はご使用の都度点検してください。摩耗や損傷があるときは直ちに使用を中止し、ご購入いただきました販売店もしくは弊社ユーザーサービス係までご相談ください。

■ 理由 ■ 容器の取り付け、取り外しでOリングが摩耗します。また、ゴム製のOリングは使用しなくても劣化します。劣化したり損傷したOリングを使用するとガス漏れの原因となります。



ガスカートリッジを接続する前には必ず器具栓ツマミを時計回方向に回し、器具栓ツマミが閉じていることを確認してください。

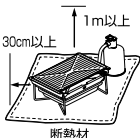
■ 理由 ■ 収納時や運搬時に器具栓ツマミが開いてしまうことがあります。



警告

燃えやすいものから上は1m以上、周囲30cm以上離しストーブの下には断熱材を敷いてご使用ください。

■ 理由 ■ 風向きにより炎の熱は横方向や下方に流れます。上方には強く伝わりやすいため火災にならないように燃えやすいものは十分な距離を保ってください。また、グリドルからの輻射熱で床面の温度が上昇し、火災につながる危険がありますので、器具の下に断熱材を敷いてください。



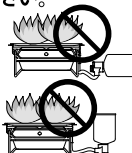
水平で安定した場所に設置してお使いください。

■ 理由 ■ 傾斜していたり不安定な状態で使用すると、転倒し火傷や火災の危険があります。



容器は正立した状態で使用してください。

■ 理由 ■ 横にしたり、倒立した状態で使用すると液体のガスが勢いよく噴射して異常に大きな炎が出て、火災の原因となります。容器の置き場には充分注意してください。



調理以外の目的に使用しないでください。

■ 理由 ■ 暖房や衣類の乾燥など調理以外の使用は、火災や火傷、酸欠など思わぬ事故につながる場合があります。



ホースを強く折曲げないでください。また、保管中についたホースの巻き癖はまっすぐに直し、ガスカートリッジをなるべく本体から遠ざけてください。

■ 理由 ■ ガス漏れが発生し、引火や火災あるいは異常燃焼を起こすことがあります。



空のガスカートリッジでも火の中に投げたり他の熱源のそばに置かないでください。

■ 理由 ■ 空になったガスカートリッジでも、微量のガスが残っています。火の中に投げたり他の熱源のそばに置くと内圧が上昇し爆発することがあります。



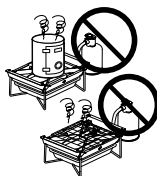
本製品やガスカートリッジを40度以上の砂浜や川原の石の上、金属面、舗装路面上では、使用および放置・保管をしないでください。

■ 理由 ■ 直射日光を受けた砂浜や川原の石、金属面、舗装路面上は外気温より高温になっています。その上にガスカートリッジを放置したり、本製品を使用するとガスカートリッジが過熱され内圧が急激に上昇し異常燃焼をしたり爆発することがあります。



付属しているグリドル以外の鉄板や焼網、セラミクス製品、くん製機などは使用しないでください。

■ 理由 ■ 付属品以外の鉄板や焼網、セラミクス製品、くん製機などは予期せず輻射熱によりガスカートリッジが異常加熱し、ガスカートリッジの内圧が急激に上昇し爆発する危険があります。



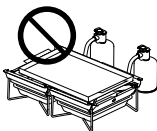
本製品で炭の火起しは絶対にしないでください。

■ 理由 ■ バーナー本体やホース、ガスカートリッジが異常加熱し、ガスカートリッジの内圧が急激に上昇し、爆発の危険があります。



一つの調理器具に複数の燃焼器具を並べて使わないでください。

■ 理由 ■ 大きな鍋や鉄板などで複数の燃焼器具を使用するとお互いの炎でガスカートリッジが異常加熱し、ガスカートリッジの内圧が急激に上昇し、爆発の危険があります。



爆発等の危険がありますのでガスカートリッジは完全に使い終わってから他のゴミと区分して捨ててください。また、長時間本製品を使わないときはガスカートリッジを取出してください。本製品は付属の収納ケースに入れ、ガスカートリッジにはキャップを付けて保管してください。

■ 理由 ■ 火力調節つまみが不用意に開きガスが漏れることがあります。本製品並びにガスカートリッジの接続部分にゴミやホコリが付着すると故障の原因になります。



ヒーターや焚火など、他の熱源があるところでは使用しないでください。

■ 理由 ■ 他の熱源によりガスカートリッジが異常加熱し、ガスカートリッジの内圧が急激に上昇し爆発の危険があります。



お子様の手の届かないところに保管してください。

■ 理由 ■ お子様に危険が及ばないように、本製品やガスカートリッジはお子様の手の届かないところに保管してください。



火がついたまま傾けたり振ったり、持ち運ばないでください。

■ 理由 ■ 風等で炎が流れたり、炎が急に大きくなるなどして火傷を負う危険があります。



警告

いかなる場合においても、グリドルの上にガスカートリッジを載せないでください。

■ 理由 ■たとえ消火した状態でも、グリドルは高温になっている場合があり、グリドルの熱によりガスカートリッジが爆発する恐れがあります。



グリドルは、本製品専用です。他の製品で使用しないでください。

■ 理由 ■輻射熱による、ガスカートリッジの破裂、燃焼異常による大量の一酸化炭素発生等の恐れがあります。



本製品の周辺及び、本製品に接している、その他の金属製品による火傷に注意。

■ 理由 ■グリドルは大きな熱量を蓄え、また多く

の輻射熱を發します。本製品に長時間接している事によりグリドルの熱が伝わったり、輻射熱により熱くなることがあります。火傷には十分注意してください。

グリドルは使用中に限らず、消火後もしばらくの間、非常に高温です。取扱いの際は、ファイヤーサイドグローブ等、難燃性の厚手の手袋をご使用ください。

■ 理由 ■鋳鉄製である為、使用後も熱を保持しており、消火後であっても火傷を負う危険があります。また、手袋をしていても濡れた手袋や長時間触れる事で火傷を負う可能性があります。

本体(特にグリドル)は、完全に冷めているのを確認してから収納してください。

■ 理由 ■グリドル等が熱を持った状態で収納すると、収納ケースが溶けたり、ガスカートリッジに熱が伝わって爆発する等の危険があります。必ず完全に冷めていることを確認してから収納してください。

注意

ガスカートリッジはご使用前は必ず点検してください。

■ 理由 ■外觀のキズヘコミ、サビなどの異常があるとガス漏れなどの危険がありますので、使わないでください。また、保管中も時々点検してください。



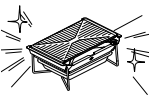
ガスカートリッジは航空機に持ち込めません。

■ 理由 ■法律により、カートリッジを航空機に持ち込むことはできません。



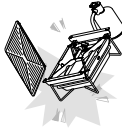
使用後は点検・清掃をして、本製品をケースに入れ保管してください。

■ 理由 ■本製品に付着した水分やホコリ、ゴミが目づまりやサビを起こし故障の原因となります。次回問題が出ない様に点検・清掃してください。



本体を落下させたり、強い衝撃が加わった時は使用を中止してください。

■ 理由 ■外觀に問題がない場合でも、内部の機構が壊れる可能性があります。外觀に問題がない場合でも、販売店または弊社ユーザーサービスまで点検を依頼してください。



【本体使用中の注意】

- ガス漏れのあるもの、衝撃を受けたもの、正しく作動しなくなったものは使用しないでください。
- 使用する前に器具栓にゴミやホコリが付着していないことを確認してください。器具栓は常にきれいにし、不用意に地面に置くなどしないでください。ゴミやホコリが付着すると出力を低下させたり、ガスが出ないなどの故障の原因になります。
- 気温やガスカートリッジの温度によりガス圧が変化し燃焼状態(炎の具合やパワーなど)が変化します。
- 強い風や煮こぼれ等で火が消えることがあります。使用中は目を離さないでください。

- 異常燃焼が起こったときは速やかに消火し使用を中止してください。
- 炎が当たる部分や炎に近い部分は金属が焼けて変色します。
- ガス臭がしたら決して着火しないでください。全ての火や炎を消火し、ガスカートリッジを取り外してください。

【グリドルについての注意】

- はじめてご使用になる時は、柔らかいスポンジたわしなどに中性洗剤を付けてよく洗ってください。金属製のたわしや、磨き粉などは使用しないでください。塗装の剥がれや傷の原因になります。
- 本製品は重いので取扱いに注意してください。特に使用中や持ち運びの際は周囲に気を配り、落とさない様に注意してください。
- 酸性・アルカリ性の強い食品は調理しないでください。サビの原因となります。
- 長時間の空焼きやそれに近い状態が続くと塗装が焼け飛ぶ場合があります。
- 密閉性の高い収納ケースの中に長期間保管しないでください。結露などによってサビの原因となります。
- 保管の際は高温多湿な場所を避け、通気性の良い場所に保管してください。
- シリコン耐熱塗装は初回到使用するまでの防錆を目的とした塗装です。初回使用後は洗剤を使わずお湯で洗浄し、よく乾燥させてからオリーブオイル等の植物油をまんべんなく塗って収納してください。
- 長時間使用しないと表面に薄いサビが発生する事があります。このような場合は柔らかいスポンジたわしなどで表面の赤いサビを落として使用してください。

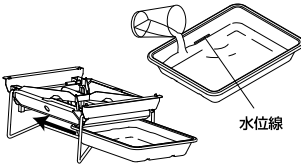
【水皿についての注意】

- 直接ゴトクに載せて加熱しないでください。
- 表面はホーローで被覆してあります。ホーローは製法上、端部など被覆しにくい部分があり、端部が水などに長時間触れているとサビが発生することがあります。
- 強い衝撃が加わると、表面のホーローにヒビが入ったり、端部が欠ける事があります。
- 手入れの際は、金属製のタワシや磨き粉を使用しないでください。(メンテナンスの項を参照)

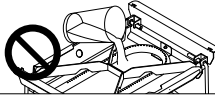
使用方法

組み立て方法

1. 水皿に水位線まで水を入れ、下図の矢印の方向から、脚部に水皿の溝を沿わせる形で載せてください。

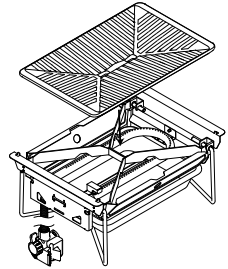


⚠ 注意：水は上から入れないでください。バーナーヘッドに水がかかり故障の原因となります。



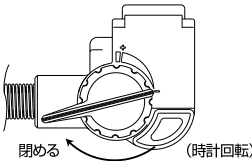
⚠ 警告：水皿はいかなる場合においても必ず水を入れ、しっかり奥まで差し込んでご使用ください。水が入っていない状態、水皿がしっかり奥まで差し込まれていない状態で使用すると、床が高温になり火災や火傷につながる恐れがあります。

2. グリドルをバーナー本体に載せてください。

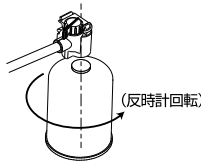


ガスカートリッジの取付方法

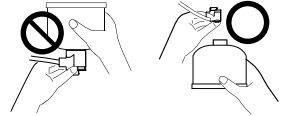
1. 器具栓ツマミが閉じていることを確認してください。



2. ガスカートリッジの接続部を上にして、カートリッジジョイントと接続します。



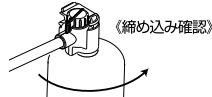
⚠ 注意：ガスカートリッジは正立（接続部が上）の状態を取り付けてください。



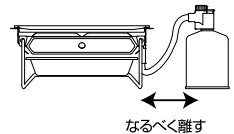
⚠ 警告：snowpeak指定専用容器（GP-500GR、P-500SR、GP-250GR、GP-250SR）を使用してください。指定容器以外は使用しないでください。

⚠ 警告：ガスカートリッジの取り付け、取り外しの際は、少量のガスが漏れます。火気のあるところや、換気の悪い所での着脱は引火の恐れがあり、大変危険ですので、絶対に行わないでください。

⚠ 警告：ガスカートリッジは、器具栓にしっかりと絞め込んでください。締め込みが甘いと、ガス漏れの原因となります。

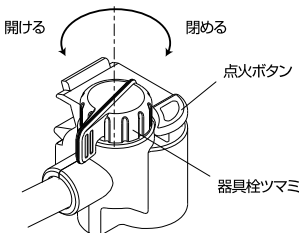


⚠ 警告：ホースをまっすぐに直し、本体とガスカートリッジをなるべく離してください。



操作の仕方

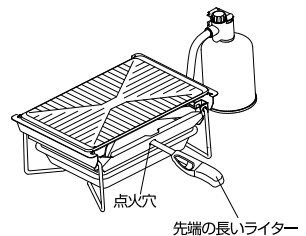
器具栓ツマミを正面から見て反時計方向（左回転）にゆっくりと回し、ガスを少量噴出後、点火ボタン数回を押します。着火できないときは一旦器具栓ツマミを閉めてからやり直してください。



⚠ 警告：着火の際は、周囲に燃えやすい物が無いことを確認してください。また、バーナーの上部に手や体を近づけたり、バーナーを覗き込まないでください。大きな炎が上がり火傷を負う危険があります。

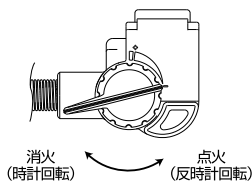
⚠ 注意：イグニタは天候や標高によって点火できなくなる場合があります。必ず予備にマッチや先端の長いライターをご用意ください。

⚠ 注意：ガスを出して2秒以上点火できない場合は、イグニタの使用をやめてガス臭が無くなるまで換気を行ってください。点火がうまくいかない場合は先端の長いライターで右図のように着火してください。



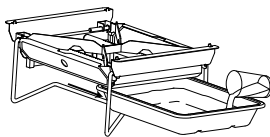
2.火力調節

器具栓ツマミは反時計回転方向（左回転）に回すと火力が大きくなり、時計回転方向（右回転）に回すと小さくなります。器具栓ツマミはゆっくりと回してください。



⚠ 警告：使用前に水が水位線まで入っている事を確認してください。また、常に水が無くなっていないかをチェックし水が少ない場合には一旦消火し、器具が冷えている事を確認したうえで水を注ぎ足してください。水皿に水が入っていない状態で使用すると、床面が高温になり火災につながる恐れがあります。

《火傷に注意!》



3.消火方法

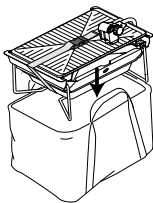
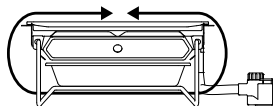
器具栓ツマミを時計回転方向（右回転）にゆっくりと火が消えるまで回します。完全に火が消えたことを確認してください。

ガスカートリッジの取り外し方法

ガスカートリッジを正立の状態で、時計回転方向に回しガスカートリッジを外します。外したガスカートリッジには必ずキャップを取り付けて保管してください。

収納方法

結束バンドを用いて本体とグリドル、水皿を束ねます。結束バンドは本体の短辺方向（下図参照）に取り付けてください。締結ベルトの長さを調整して、グリドルと水皿がバーナー本体にしっかり固定されている事を確認した後、収納ケースに入れてください。



水皿もベルトでバーナー本体にしっかり固定してください。

⚠ 注意：運搬時は必ずグリドルと水皿を本体に固定するか、別々に保護をしてください。固定をしないで収納ケースに入れると、グリドルが不意に暴れて本体や水皿を傷つける可能性があります。

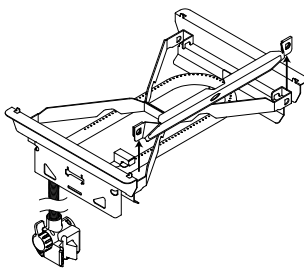
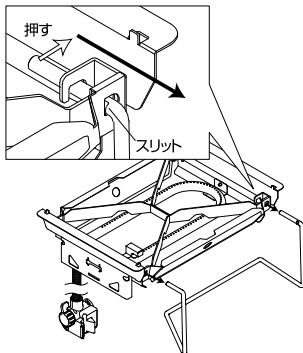
⚠ 注意：結束バンドは、本体の長辺方向（風防側）に取り付けしないでください。締め付けにより風防が破損する恐れがあります。



メンテナンス方法（分解・組み立て）

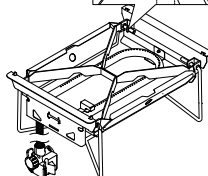
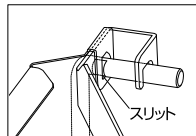
1. 分解方法

脚の先端を下図の様に外側に軽く開き、スリットとゴトクの勘合を解除しながら取り外します。その後、風防を上方向に取り外します。

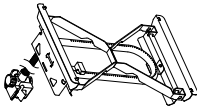


2. 組み立て方法

分解と逆の方法で組み立ててください。ゴトクと脚のスリット及び、風防の接続部4カ所が下図のようになっていることを確認してください。

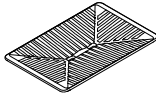


メンテナンス方法（お手入れ）



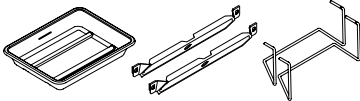
【バーナー本体】

- ・バーナー本体は水洗い出来ません。汚れや塩分が付着した場合は、固く絞った布で汚れを拭き拭き取ってください。
- ・汚れの拭き取り後、乾いた布で水気を拭き取り、風通しの良い日陰で乾燥させてください。



【グリドル】

- ・使用後は洗剤を使わずに柔らかいスポンジたわしなどを使って、お湯で洗ってください。
- ・洗浄後は火にかけ空焚きをして完全に水分を取り除き、熱いうちに表面と裏面にをまんべんなく軽い植物油や植物性ショートニングを薄く塗ってください。（少量の油を馴染ませた布で拭く程度）



【水皿・風防・脚】

- ・やわらかいスポンジたわしに中性洗剤をつけて洗ってください。
- ・洗浄後、乾いた布で水気をふき取り、風通しの良い日陰で乾燥させてください。

トラブルシューティング

故障・異常の見分け方と処置の仕方

症状	チェックポイント	処置
ガスが漏れる （ガスのおいがする）	・ ガスカートリッジはしっかりとねじ込まれているか。 ・ ガスカートリッジは斜めに取り付いていないか。	・ ガスカートリッジを取扱説明書どおりに取り付ける。
	・ カートリッジジョイントのOリングは傷んでいないか。 ・ ガスカートリッジ部以外からガスが漏れていないか。	・ 直ちに使用を中止する。
点火しない/炎が不揃い	・ バーナーヘッド部が目詰まりしていないか。	・ バーナーヘッドを清掃し、目詰まりを除去する。
火力が弱い	・ ガスカートリッジの残量が少ない。 ・ ガスカートリッジが冷たくなっている。	・ 新しいガスカートリッジと交換する。
使用中に消える	・ ガスカートリッジの残量が少ない。 ・ バーナーヘッド部が目詰まりしていないか。	・ 新しいガスカートリッジと交換する。 ・ バーナーヘッドを清掃し、目詰まりを除去する。
消火しない	・ 器具栓ツマミが開いていないか。	・ 器具栓ツマミを最後まで閉める。
赤火が発生する	・ 点火部の場所だけ発生している。 ・ 吹きこぼれたものが付着していないか。 ・ ゴトクの場所だけ発生している。	・ 点火部の素材による炎色反応であるため、異常ではありません。 ・ バーナーヘッドを清掃し、付着物を除去する。 ・ ゴトクの素材による炎色反応であるため異常ではありません。
点火ボタンを押しても点火しない	・ ガスカートリッジの残量が少ない。 ・ バーナーヘッド部が目詰まりしていないか。 ・ ガスカートリッジが確実に取り付けられていない。	・ 新しいガスカートリッジと交換する。 ・ バーナーヘッドを清掃し、目詰まりを除去する。 ・ 「使用方法」の項をよく読みガスカートリッジを確実に取り付け。
ゴトク、バーナーヘッドに焼け色が発生		・ 燃焼により金属が変色したためであり、異常ではありません。

それでも解決しないときは…

直ちに使用を中止し、ご購入いただいた販売店または弊社ユーザーサービス係までお問合せください。

品質保証について

お買い求めいただきました製品は万全を期していますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めの販売店様または弊社にご相談ください。製品上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適切な価格で修理させていただきます。修理、交換の判断は、弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合は修理できない場合もありますので、予めご了承ください。

1. 取扱説明書に従わなかったと判断した場合。
2. 素材の経年劣化による製品の寿命。
3. 改造及び粗雑な扱いによる製品の故障。
4. 不測の事故による製品の故障。
5. その他製造上の欠陥以外による製品の故障。
6. ゴミやサビによる故障。
7. 分解したことによる不具合の発生または破損。
8. 落下やその他の衝撃による部品の変形や破損による不具合。
9. 消耗品の劣化、破損、故障及び付随する不具合。
10. 他社製品との組合せによる故障。

不明な点やお気付きの点がございましたら、販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。
スノーピークユーザーサービス
 ☎ 0120-010-660 (9:00～17:00)
 Email: userservice@snowpeak.co.jp

株式会社スノーピーク
 〒955-0147 新潟県三条市中野原456
 tel: 0256-46-5558 fax: 0256-46-5860
 www.snowpeak.co.jp

MADE IN KOREA